





● 余の本意を述べて  
**在伯同胞に訴ふ** (四)  
小林美登利

京都五ヶ年間の同志社生活は私の終生忘れる事の出来ない思い出と感謝と共に充ちて居ります。それが風光絶佳な天然に居をとして過去一千年間の由緒深き歴史を背景として我に與へた感化の大なるは申迄もなく特に各佛教の大本山が落々として半天に聳え今尚は響く紀恩精舍の鐘の音にしみじみと佛教の氣分に浸り更に新島襄先生の創立した同志社の學舎に學ぶ事が出来た我身の幸福は到底言語に盡し難い所であります。

然し愈々同志社で勉學の身となつて哲學新化論等を初め種々な新思想に接する事となり特に忌憚ない聖書の高等批評を受けるに及んで田舎の温い教會内で築き上げられた單純な信仰などは影も形もなく破壊し去られ忽ち信仰破産の憂目にあひ同僚の友にして蹠く者倒るゝ者等が相繼ぎ私なども幾度かなく救世軍に飛込ふとした事があります。然し大なる破壊は大なる建設の前提で如何に凡ての物を破壊し去つても自己其者の存在は嚴として動す事が出来ずしてそれが堪えず靈的對象物に向つて憧れて居る事も到底否定し得ない事實である事を發見するに至りました。從つて私は先づ同志社に於ける勉學の方針を確定し學問は學問として何處迄も眞理究明に忠實である事を期して一方直接交渉を以て決定する事をして只管聖書と神學に依つて當る事に致しました。之が爲に私は何時も比叡山を祈りの場所と定め彼のきら坂の峻坂を攀ぢて將門岩の巖頭に立つ事實に百数十回に及んだのであります。斯くて卒業迄には最早や如何なる思想學問信念が來ることも断して動かない丈の信仰の基礎を築くに至りました。愈々自己の信仰確立と共に前途の己が活動の天地も確立する事となつたのであります。

● 綿花害蟲  
ラガルタ 口ゼア  
アセベード・マルケス  
伯國の北部地方の農家は、一九一六年の中頃から、綿作に對して普通ラガルタ、ロゼアとして知られる害虫の爲に悩まされて來た。此の害虫は一種の蛾の幼虫で、原產地の埃及から、綿花種と一緒に持ち込まれたものに違いない。そしてその迅速な繁殖の爲に、今では國內綿作のある所、此の害虫の居ない所はなくなつてしまつたが、幸にしてまだその發生を見ない地方があつたら、油断なく豫防法を講じて侵入を防ぎ、既に發生した地方は、その撲滅策に全力を用ふべきである。

所がその豫防撲滅に際して、最も効果あらしめる爲には、該虫の生育循環期、即ちその發生状態や、變體の有様等を知る必要がある、その爲に茲にその要點を摘要する事にした。さてこのラガルタ、ロゼアは、學名 *Platynota rosaeypella* として知られてゐる、蛾の卵から生れて来る、此の蛾は黄昏の頃に盛に飛び廻つて單に綿栽培地面のみならず、綿花英や種子の貯藏場にも飛んで来る、大きさは約九ミリメートル(約三分)四枚の翅翼を有し、前部翅は青銅色の薄色に、金黃色の光彩を有し、黒濁色の帶と斑點がある、後部翅は黒灰色である、此の蛾は交尾後暫して、まだ生熟しない綿花莢に産卵する、數日後に此の各卵から、白色の蛹虫が生れ綿葉を食ひ破つて、中の種子を食ひかかる、それが彼等の無二好物の御馳走なのである。かうして數度脱皮して、太さ三ミリメートル(約一分)、長さ約十二ミリメートル(約三分八厘)に成長してゐるのだ。この大きさになると、綿種子の内部又は外部に、紡錘狀白色の極めて脆弱な繭を作り、その中へ入つて蛹になるこの蛹が蛾や芋虫などの中間體で、稍紅色を帶びた巾約三ミリメートル

近ボリビア共和国に於ける石油鑿掘の目的で五百萬ドルの米國資本のトロニスタンダード、オイル、コンバカル、ナイル社は既に一月以來資源油を賣出した同社はバルカンに於て三油井を所有し猶ほ十油井探査備中であるそしてドウラーダ、ブルトベリオ、バルンカ、ベルメテル、エルコンテンテ、ヤテ、カラマル及びバルキイリヤに各二萬樽の收能力を有する貯油槽を設ける

**FUJISAKI & COMP.**

**種各品本日**

**聖波羅土地木材殖民會社**

◆當社は水質良好、氣候溫和にして珈琲其の他の全作物に適する肥沃なる絶好殖民地ビリグイ。エイトール、レグルーの土地を廉價且つ拂込方法を容易にして賣却す

◆當社は既に千八百家の各國人を有し、其中四百家の日本人植民し且道路四通八達し兒童教育機關及日本醫院の設備等あり尙詳細は左記宛御照會ありたし

◆

リ オ 支 店

Rua Candelaria, 90  
Caixa Postal, 1246  
Rio de Janeiro

聖 市 出 張 所

Rua Quintino Bocayuva, 80  
Caixa, 1714 Tel. Cent. 3449  
São Paulo

新 荷 着

◆ 食料品 厚板昆布、福神漬、椎茸  
◆ 賣藥 青切昆布、淺草苔、わかめ  
◆ 金物類 婦人樂、小兒藥、モグサ、風熱病藥其他一切  
◆ 圖書 マルハヤ稻刈鎌、土佐鋸、片手バリカン、其他一切  
◆ 化粧品 口紅、白椿油、其他一切  
◆ 日本野菜種子其他 一切  
◆ 日本高價買入並に農產物委託販賣◆

**東京本店** 赤坂區溜池町廿三  
支店 サン・パウロ支店  
Tel. S. Bento No. 68-A  
Tel. Cent. 2788-Caixa, 344  
S. PAULO

**藤崎商會**

「一寸起きておくれよ、佐藤さんが歸つておくれたがな……ゑらい事が出来て仕舞つた……」

途中一緒に乗り合はして來た前久五郎さんが聲をかけると、叔母さんが起きて戸を開けた。叔父も起きた。兄の妻も従弟も、カントラに火は点せられる。不安に満ちた四人の眼は一齊に自分の上になげられた持つて歸へつた兄のカバンに……

『兄は最う死んで居ましたよ』悔恨と愛惜と……また新しく涙が流れ、兄の妻も叔母も叔父も従弟もツツ泣き出してしまつた。

二間に三間の表庭は片付けられ正面の一偶に佛壇が仕込まれ、南無阿彌陀佛の御題目と兄の寫眞とは安置された。燐燭の火、線香の煙むせび泣く聲……

今來ご待ちわぶ妻子あとにして急ぐ雨風西の淨土へ

『ちやお前行つて来るかい』明ければ恰度初七日近隣の誰れ彼れは皆くやみに來た終日終夜讀經の聲連れで來やう

色々と準備をした、三十ばかりの玉子もミーリョの皮に包まれ、袋の中へ入れられた、机の上に揃へられたカラ一、ボタン、子クタイといちくつて居る中、二つあつた後のカラ一止めのボタンが何の拍子かボキリと折れた。不安懷疑、何んとなくそはしく然かも重苦しい夜のあやしい夢にいつこは無く更けて行つた。大正拾一年一月拾日草木も寝る真夜半過ぎ、あやめも別かぬくら聞を叔父が先き立つランプの火に、雨時期に足ぬかる泥道をステーションへ急いで未明四時汽車中のひとなり十一日朝九時聖市に到着した。細い雨に濡れながら、小走りについ近くの日本人ホテルに入つた。汽車の中では殆ど何物も食べず、食へば吐き出す苦しさも、少し歩るけば常の如く先づ腹をこしらへた。

『今日は慈善病院の面會日かね』  
「否、明日ですよ」  
まゝよこばかり外へ出て慈善病院に向つた、止むと見ればまた雨が降りしきる、電車で十分餘、ます受付の電話交換所員にて下さい』  
『第三部内科佐藤源治の様子を聞いて下さい』  
『昨朝未明既に死んだ』  
手にした玉子の入つてゐるのも忘れて持つた袋を下に落して傍のベンチに倒れるやうに腰を落した、失望暗黒の底知れぬ谷に落されたと思ひ……雨はまた一しきり降りしきる  
て下さる。『ああ、まだ一しきり降りしきる。あすよりと思ひしものを降る雨のなせに拒かざる旅立つ兄を』  
時報歌壇

正午のアグリーニにて  
パルド萍

小だけしかけたらバツトの群が驚いて褐色の池にすべつた真正午水鳥の逆立ちながら亦浮び静かに餌あさるを見し？  
？の様な首してふと浮ぶ夢？現しボート浮べてスワンと共に浮びて  
の痛つき胸もしばし息みぬ  
ワンの首よ現実と理想との矛盾をかこつ我が  
も息する所伯國にありとか

不思議の指輪(七)

松本高信

コケコツコウと雞の鳴く聲がして  
の空が白うなつて參りました。そこで太  
てやがて赤いニコニコ顔のお日様  
廣いブラジルの山にも河にも林にも林に  
めぐつてまゐりました。そこで太  
さんは急いでお爺さんのお家をさ  
て出掛け参りました。すると昨日  
様に一頭引の馬車に乗たお爺さん  
門を出た所で出會ひました。

『お爺さんお早う』

と今度は太郎さんから先に言葉を  
ました、お爺さんは

『おう俺は今お前の様な子供を探  
に出掛けたところだつた、さあ俺を  
た種なら刈らざあなるまい……』

『この飾物はね、自分の悪計画を  
ふとする、當然の結果なんだ、蔵  
せるなんざあ平氣の助の、口性無  
人間さへ居なけれど、そんな危  
代物ぢやないんだ』

『黙り給へ、このまゝに君の置物  
サロンへ飾つて置かう、と云ふん  
らうが、醜聞は遅かれ早かれ洩れ  
にはゐない、僕は弟として、自分  
姉が侮辱の浮目に遇ふのを見て手  
抜いてはゐられないからね！』

『君へンリケ君！』

かつと上せたレオンシオは、か  
叫びながら拳を固めて、ヘリケ  
掴みかゝらうと近寄る間に身を入  
たマルビイナは

『もう澤山です、お静になさい一  
益さ

い　　見　　ス　　溝　　身　　見　　ス　　溝  
しょに家へ行け　　と言ひますので太郎さんは  
『ハイ、ハイ』  
と喜こんで從て行ました。すると度昨日と同じ事を命じて昨日同じ道を通つて河を渡つて昨日と同じ断崖を登つてまわりました。たゞ今日はお爺さんの方から『どうだ小僧水は飲みたくないか』と聞きかけました。そこで太郎さんは肩に掛てる水筒をはづしてホヤホヤチャヤ音をたてゝ『お爺さん、僕はこうに旨いビン、東を持て居りますから水は欲しくありません』  
と言ひ乍ら栓をぬくと甘美辛いビンガの香りがブンとそこらに擴がりました。  
『そして貴女は?』  
『もしそのお金が儲かつたら、どうな帽子と衣物を買はうかと思つて一週間です』  
『貴女の御主人は、夜宅にあると何をなさつてゐるの?』  
『お金を儲けを考へてゐるんです』  
『あなたばかりか、妾達皆の恥辱ぢやうにならざるがいい』  
ありませんか、妾はもう云ふだけの事は、すつかりレオンシオに云つた筈です、決心がついたら、お好きやうにならざるがいい。若し廉恥や、名譽を得てゐる男なら、まだ遅くありますまい。でなければ仕方がない、貴方は全く恥を知らない方なりだんだ』  
『まあさマルビイナ!僕はいつでもお前が安心し、満足する爲には、山来る事は何でもやる決心はついてゐるんだ、然し今度の事は、お前のやうに叶へるには、先づ第一に都にある親父と相談しなきやあならない、て事をよく解つて呉れなくちやいねい、それに親父は、柄にもない、ウラの父親が、不思議な程大金を稼いだ。』

立願上奉り候  
候へば多少に拘はらず倍舊の御  
左の價格を以て御用命に應ずべ  
様の御最負に報ん爲本年度は特  
材料を撰び堅牢に廉價を旨とし  
賀候  
中村仁太郎鐵工所  
NAKAMURA NITTARO CO.  
Linha Noroeste  
告◆  
旭旅館  
館主 野口喜平治  
Rua Conselheiro Furtado no. 24  
S. Paulo  
コンセーロフルタード街二十四番  
賀候  
夕街八番に營業罷り在り候處今  
轉仕り候間倍舊の御引立伏して  
新衛生的の女王「花の露」は美味且つ滋養に富み  
非同試用に被下受品益々勉強精製致し候間何  
卒倍舊の御愛顧賜り度伏して願上候  
醸造主 太田吉太郎  
郵局二〇〇七  
特別販賣所 山田隆次  
聖市コンセーロセダス街六五番  
セントラール 四五五九番  
館 中山忠太郎  
シナノデ、デ、サルゼーダス街五〇番  
太郎 場  
具用 は本  
太郎 Garage Normal  
Tel. Cidade, 56  
Praga da Republica No. 43  
◆迅速叮囑勉強  
◆御引立を乞ふ  
御用命の際は  
御呼び下さい  
ニコス  
ニア際



